

## セルフモニタリング報告書(令和 2 年度分)

令和 3 年 4 月 30 日

施設名 アブロス沼ノ端スポーツセンター  
 指定管理者名 都市総合開発株式会社・シンコースポーツ北海道株式会社コンソーシアム  
 所管課名 スポーツ都市推進課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己 評価
<b>1 事業計画の達成度</b>		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	大きな事故、トラブル等が無く運営することが出来ました。コロナウィルスによる影響により4月、5月と開館に制限があった中、感染予防対策は最大限実施して運営することが出来ました。また、利用者アンケートでも高い評価を頂くことが出来ました。	A
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	新型コロナウイルスの影響により休館や利用者離れにより利用者数が減少したことは残念ですが、利用者獲得のための取り組みは積極的に行いました。中でも専用団体の誘致は、2021年1月から前年度よりも件数・利用者数ともに増加しており、取り組んできた成果が結果として表れております。感染予防対策を徹底し、利用者を万全な体制でお迎えできるよう準備を整えて参ります。	A
<del>施設の設置目的にあった成果は上がっているか（目標値を設定していないその他の施設）。</del>	<del></del>	<del>A・ B・ C・ D・E</del>
自主事業は計画どおり行われたか。	新型コロナウイルスの情勢を考慮し、感染対策を行った上で計画的に開講致しました。新しい試みとして、春休み短期水泳教室では少人数制にするなど積極的に取り組む事が出来ました。その他、成人講座紹介キャンペーン、SNS（インスタグラム）での施設紹介キャンペーン、プール施設使用料定額キャンペーンなど減少した利用者を回復させる為に積極的なイベントを開催しております。 その他、体育の日やクリスマス、祝祭日には特別イベントを開講し、運動の提案や施設のPRにも力を注いでおります。	A
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	近隣の小中学校や町内会、水泳関係団体の代表者で構成される利用者協議会を設置しております。コロナウィルスの影響により実現には至りませんでした。有事事項につきましてはその都度意見や要望を頂けるよう連携を強化しております。苫小牧市消防本部の水難救助訓練の協力や中学生の職業体験等の受け入れ態勢も整えております。	A

2. 利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	利用者アンケートの調査結果から、「施設全般について」の項目で「やや満足」以上の回答を 97%達成し、高い評価を頂くことができました。	A
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	施設受付前にご意見・ご要望カードを設置しております。投函された意見要望については館長が回答後、従業員に向けた回覧を作成し、全従業員が把握するよう努めております。	A
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	利用者から寄せられた意見・要望・苦情はすべての項目に館長が回答しております。 昨年からの要望があった、「有酸素トレーニング室が暑い」との声を受け、対策として窓を2カ所増設致しました。速やかに改善したことで改修後は同じような意見や要望は大変少なくなりました。	A
3 管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	電気料や熱量、水道料の節約を図るべく経費の削減に努めております。また、今後のエコに向けた取り組みも視野に入れ、施設LED化の調査も行っております。 その他、施設給湯管の漏水の際は、多額の修繕費はかかりましたが経費削減のために速やかに修繕いたしました。	A
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	苫小牧市内に事業所がある信用ある企業を選定しております。また、経費が削減できるよう、見積りは複数社に依頼し、決定した業者とは十分な協議も行っております。	A
収入増加のための取組はされているか。	新規利用者の獲得の為、広報やホームページ、新聞紙面等による施設の案内、SNSを使用しPRをしております。また、年齢を問わず幅広い利用者確保の為に様々な運動プログラムの提供や運動処方プログラムの実施をしております。 その他、利用者が安心安全に運動を生活習慣化できるよう、コロナウィルス感染防止対策を徹底しております。	A
4 適正な管理運営		
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	管理・運営に不安のない適正な人員を配置しております。コロナ対策により仕事量も増加しますが、職員を多く配置し対応しております。	B
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	消防訓練はもちろん、AED 講習や溺者想定救助訓練を実施しております。また、職員の個々の能力向上に向けた個別指導、外部講習会への参加や他施設への視察も積極的に行っております。	A
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか。	子どもから高齢者、障がい者まですべての市民が安心して快適に施設利用できるように十分配慮しております。また、使用料	A

いるか（使用料の減免、還付含む。）。	の減免についても、沼ノ端スポーツセンター条例・規則に則り対応しております。コロナウイルス感染症対策に伴う還付については、その都度担当課と協議しながら対応致しました。	
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	業務上知り得た情報は、個人情報保護の観点から書類等は社外から持ち出さず、鍵のかかる書庫に保管しております。また、不要な書類はシュレッダー処理を徹底しております。	A
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	収支について適正に処理し計上しております。	A
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	法定点検について、必要な全ての項目を終了しております。また、法定点検以外にも必要と思われる内容については独自で保守点検・定期点検を実施しております。	A
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	重要な書類は鍵のかかる書庫に保管しております。備品の管理についても、修繕の必要なものは速やかに対応し、購入や廃棄の手続きも適切に行っております。	A
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	消防訓練や AED 講習、溺者想定訓練に実施により、職員は危機管理に関する知識を深めております。事故防止の為、施設案内により注意を促しております。また、危険な場所には踏み台やクッション材等も設置しております。	A
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	法令・協定書・沼ノ端スポーツセンター条例・沼ノ端スポーツセンター規則を順守し管理運営をしております。施設の持つ役割を十分理解して運営しております。	A
<b>5 地域貢献</b>		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	職員は地元の雇用を優先しております。資源調達や委託業者は苦小牧の業者を優先に考えて選定しております。また、中学校と連携し職業体験の受け入れ態勢を整えております。 さらに、自主事業経費による雇用人数拡大など、雇用による貢献もしております。	A

A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。

B: 目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。

C: 概ね目標、事業計画どおり行われおり、管理運営も適正で、特段問題は見られない。

D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。

E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

## 自己評価 ★★★★★

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

## 指定管理者の自己評価(全体を通して)

令和2年度の管理運営に当たり、事業計画書を基に基本協定書や沼ノ端スポーツセンター条例、規則を順守致しました。また、スポーツ都市推進課や各関係機関と適切に連携できたことで、大きなトラブルや事故を起こすことなく管理運営することができました。

新型コロナウイルスの影響がある中、「共存」するための試行錯誤に追われた1年となりましたが、関係機関との連携や利用者に向けた連絡対応が速やかに取れたと思っております。

利用者数の減少が目立ちがちではありますが、少しずつ利用者の戻り傾向が見えております。その背景には、社会情勢に対応した積極的な提案が功を奏しているのではないかと自負しております。常に利用者目線に立ち、指定管理者に与えられた役割を理解した上で、『地域に根差した運営』や『魅力のある施設づくり』に力を注いだことが施設利用者に受け入れられているのではないかと実感しております。

指定管理者ができることは限られておりますが、利用者からの様々な意見や要望を活かした運営により、更に多くの方に喜んで頂けるよう尽力し、施設の管理運営を通して周辺地域や市民の元気・活力の一端を担う事ができるよう努力して参ります。